

このメルマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報や産業保健情報を配信します。

目 次

1. 群馬衛生管理者協議会総会・交流会開催の報告
2. 実地研修の報告
3. 相談員さんのひとりごと
4. 産業保健セミナー（12月～1月予定）のご案内
5. その他関係機関の動き

“群馬衛生管理者協議会総会”“交流会”の報告

11月26日（木）、前橋テルサ「けやきの間」において、平成21年度群馬衛生管理協議会総会と第7回交流会が開催されました。

群馬衛生管理者協議会会員総数538名のところ、出席者64名、委任状338名で総会は無事成立しました。議題の「事業報告」「事業計画」そして「人事異動にともなう役員改選」すべてが承認され、来賓を代表して群馬労働局労働基準部安全衛生課長にご挨拶を頂いた後、来賓の各労働基準監督署署長をご紹介し総会は終了しました。

交流会は、衛生管理者とオブザーバーを含めて41名の皆様に参加いただき、次の3テーマで5班に分かれて班別討議を行ないました。

- ① メンタルヘルス対策（1班）
- ② 衛生管理者の役割と活動（3班）
- ③ 健康診断の事後措置（1班）

昨年までは「メンタルヘルス」関係への参加希望者が多かったのですが、今年は「衛生管理活動の活性化」への参加希望が多かったことが特徴的でした。

各班とも活発に討議が行なわれ、90分の討議終了時間になっても話が途切れることがなく、盛況のうちに発表に移りました。

各班の発表の一部は次のとおりでした（実際の発表はもっともっと内容の深いものでしたが記録が間に合いませんでした）。

①メンタルヘルス対策

- ・メンタル不全に陥る前の予兆を見逃さないことが大事
- ・職場復帰は個人差あり産業医、本人と相談することが肝要

- ・メンタルヘルスに関する研修はこれまでいろいろな機関で行なわれており、概論はもう必要ない

②衛生管理活動の活性化

- ・職場巡視の方法
- ・軽微な労働災害の防止
- ・安全衛生管理体制（委員会の下部組織のあり方）
- ・インフルエンザ・分煙対策
- ・衛生管理者の役割
セミナーに参加し幅広い知識を持ち、それを業務に活かす
職場で信頼される存在になる
衛生管理の重要性をトップに働きかける
- ・産業医とのかかわり方

③健康診断の事後措置

- ・7～8割の有所見者をいかにして治療につなげるか
- ・アフターファイブ・家族関係などを見直す
- ・飲酒・喫煙等生活習慣病につながるものを見直す

交流会に関するアンケートでは、次のようなご意見をいただきました。

「他社の活動を聞けて参考になった」

「本音の話ができた」

「良い事例をたくさん聞いた」

「皆さんも同じ様な苦勞をしていることが分かった」

「深いところまで議論ができてよかった」

「明日からの取り組みに変化があるように得られる物があると更に良かった」

「班分けは、業種ごとに分けたほうが良いのではないか」

「Q & A方式で先生役が一人いて日頃不明な点が確認できるやり方も良いかと思う」

「終了時間を4時頃に早めてほしい」

ご意見は、今後の参考にさせていただきます。

なお、今回の群馬衛生管理者協議会総会・交流会の開催に当たっては、役員会を2回開催して準備を進めるとともに、当日の会場準備・受付・議事進行・班別討議等、衛生管理者協議会会長はじめ役員の皆さんにご協力をいただきました。

役員の皆様、そして参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。

（ご都合で参加できなかった皆様、来年度のご参加をお待ちしています。交流会の持ち方などについてご意見があればお聞かせください）

実地研修の報告

11月10日、(株)パイロットコーポレーション伊勢崎工場において、実地研修を実施し

30名の衛生管理者や安全衛生担当者の皆さんにご参加いただきました。

当日は、まず㈱パイロットコーポレーション伊勢崎工場工場長からご挨拶をいただいた後、担当の衛生管理者（保健師）から、衛生管理状況の説明をしていただきました。

その後4班に分かれて施設の見学をさせていただきましたが、参加者からは工場内の施設や管理体制等について多くの質問が出され、それぞれの質問に対しスタッフの方から丁寧に説明をしていただきました。

参加者した皆さんからは、「他社の安全衛生管理が勉強できて非常に参考になりました」「現場での研修は安全衛生管理の上で大変参考になる」「参考になることが多かった」等のご意見をいただきました。

㈱パイロットコーポレーションの皆様、大変お世話になりました。

相談員さんのひとりごと

私にも「老いの知恵」を-----

前橋赤十字病院糖尿病・内分泌内科顧問 中村保子

メルマガ第22号で鈴木清美先生が家事と姑の世話を娘に任せ、東北・北海道へ夫婦旅行に出かけた話が載っていた。先生は50代、夫婦の関係を立て直すチャンスに旅行を利用してはと薦めておられた。私が興味を持ったのは前半の部分である。即ち「家事と姑の世話を娘に任せ」の部分である。ご他聞にもれず私も母の世話が日々の仕事の一部になった。これまで炊事や洗濯に時間を割いた経験はなく、母の手作りと外食産業にお世話になっていたのである。しかし家事が辛くなった母を見ては引き受けざるを得ない。やってみると炊事は結構面白い。動物実験と同じで計画を立て・材料選び・段取り・無駄なく実験が行えると一日がさわやかに始まる。まして美味しいなどといわれて良好な結果を得ることができると次の実験計画を立てる段取りになる。母の味には及ぶべくもないが、味に批判がましいことは一切言わない。お互いに平和が大切なことを知っているからだ。鈴木先生は人生後半の夫婦関係リセットに、数々の旅行を計画してくれるJR東日本に感謝しておられたが、感謝するとすれば我が家ではNHKである。母方祖母は下手な作詞を趣味にしており時々投稿していた（せいぜい佳作）。母も歌は好きであったが俳句が主であった。しかし年齢を重ねるにつけて祖母同様に歌謡番組が好きになってきた。戦前から昭和40年・50年代までがカバー範囲である。NHK「懐かしの歌声」などが放映される夜は、仕事を早くに終えてテレビの前で母との合唱が始まる。ビデオやDVDでは駄目で、放映日に焦点を合わせて都合を着ける過程（演出）が必要である。一緒に楽しみながら後期高齢者の母親との関係リセットにもやはり日常性を離れた儀式が必要なことを実感している。食事はもちろん諸事に批判がましいことを言わなくなった母に対して、寂しさを覚えながらも「老いの知恵」が働いているのを感じる。そしてこの知恵が働いている限りは母の生活は穏やかである。自然の摂理とでも言ったものでしょう。しかし母はいつまで経っても母親である。出がけに「ハンカチ・ちり紙もった？」といって私を送り出してくれていたが、最近は「携帯・鍵・眼鏡もった？」と言いながら玄関に来る。いずれも一度ならず忘れて取りに戻っ

たものである。さてさてこの先、何が眼鏡の後ろに付くのやら？ 私にもそろそろ「老いの知恵」が備わって欲しいものである。

産業保健セミナー（12～1月の予定）のご案内

寒くなり外出するのも億劫ですが、本年度のセミナーも残り少なくなりましたので、どうぞお出かけください。

（１）「職場復帰の支援」

開催日時	12月1日（火）14：00～16：00
開催場所	群馬障害者職業センター（前橋市天川大島町130-1）
講師	群馬障害者職業センタースタッフ
内容	群馬障害者職業センターでは、うつ病等で休職している方を対象とした支援を平成17年度から実施しています。本研修では、支援の流れや概要について説明し、復職時の復帰部署及び職務内容等に関する調整状況について事例を挙げながら検討します。

（２）第297回セミナー「特定健康診査・保健指導の概要」

開催日時	12月2日（水）14：00～16：00
開催場所	群馬産業保健推進センター（前橋市千代田町1-7-4）
講師	（財）東日本労働衛生センタースタッフ
内容	特定健康診査・特定保健指導の概要と職場における健康診断との関係について、また平成20年度東日本労働衛生センターにおける特定保健指導の実施報告を行ないます。

（３）第298回セミナー「衛生管理活動の活性化」中止（申し訳ありません）

開催日時	12月8日（火）
------	----------

（４）第299回セミナー「うつ病の予防と対策」

開催日時	1月14日（木）
開催場所	群馬産業保健推進センター（前橋市千代田町1-7-4）
講師	松澤一夫相談員
内容	近年のストレスの多い社会でうつ病は著しく増加しており、うつ病の正しい理解は職場のメンタルヘルスを考える上で重要なことです。うつ病の症状、治療、予後等を解説し、職場での予防対策についても論じます。

（５）カウンセリング技法（事例検討）

開催日時	1月26日（火）14：00～16：00
開催場所	桐生商工会議所（桐生市錦町3-1-25）

講 師 嶋方 喜斌氏（カウンセリングルーム「雨上がり」主宰）
内 容 人間関係の悩みが病にまで進む現代人を見据え、カウンセリングの
基本である「傾聴」、「うつ」に対する認知行動療法、「不安」に対す
る森田療法などの事例と交えながら、人と人との関連性の大切さを
考えてみたいと思います。

< 2月以降の予定 >

- ① 2月4日 「有機溶剤業務の安全衛生管理」 柿沼泰明相談員
太田市社会教育総合センター
- ② 2月16日 「THPデモンストレーション事業」の運動指導の解説と実技
中山伸二氏
東日本労働衛生センター
- ③ 3月8日 「栄養指導の実際」 野口泰子氏
太田市社会教育総合センター
- ④ 3月16日 「衛生管理活動の活性化」 都丸和憲氏
伊勢崎市文化会館

開催日時、セミナーの内容、講師、開催場所の順に記載しました。開催時間は全て
14時から16時です。お近くの会場で参加してください。

< 申し込みに応じたお願い >

これまで、セミナーの開催日間近に、会場周辺の皆様に「セミナー開催のお知らせ」
の文書をファックスで流していましたが、これからはファックスができない場合もあり
ますので、可能な限りホームページやメルマガでセミナーの開催日時等を確認して、早
めに申し込みをお願いいたします。

~~~~~  
その他関係機関の動き  
~~~~~

* 群馬県こころの健康センターからのお知らせ（再掲）

講 座 第23回こころの県民講座
「眠れていますか？ 心地よい睡眠を取り戻すために～」

開催日時 平成21年12月19日

会 場 群馬会館ホール（前橋市大手町2-1-1）

講 師 樋口 輝彦（国立精神・神経センター総長）

申込方法 はがき、ファックスまたは電子申請

受付期間 11月13日から12月10日

問い合わせ先 群馬県こころの健康センター 企画研修係
電 話 027-263-1166
FAX 027-261-9912

＊ 第19回群馬県歯科保健大会（再掲）

「元気県ぐんまは8020から」

日 時 平成21年12月3日（木） 13：00～

会 場 群馬会館（式典、学校歯科）

県庁28階（県民公開講座、地域歯科保健分野）

参加者 歯科保健関係者及び一般県民

主 催 群馬県・群馬県教育委員会・群馬県歯科医師会・群馬県学校医師会

＊ 「心の健康づくりシンポジウム」のお知らせ（再掲）

開催日 平成22年1月12日（火）

会 場 東京国際フォーラムホールB7

主 催 厚生労働省・中央労働災害防止協会

内 容

シンポジウム「新しいうつ」と職場のモチベーション

座 長 ： 野村総一郎（防衛医科大学校病院 副院長）

シンポジスト ： 井上賀晶・綿貫良彦・山口律子・水島郁子

特別講演「最近の若い労働者の心の健康問題」

樋口 輝彦（国立精神・神経センター総長）

申 込 参加申込書をファックス又は郵便で送付（10月20日受付開始）

中央労働災害防止協会のホームページでご覧になれます。

<http://www.jisha.or.jp/>

＊ 産業保健関係者に対する感染症対策に関する研修のご案内

主 催 財団法人産業医学振興財団

対 象 産業医・衛生管理者・保健師等産業保健関係者
及び人事労務担当者

開催日・会場

東京会場 平成22年3月4日（木） 芝パークホテル

名古屋会場 平成22年2月18日（木） KKRホテル名古屋

大阪会場 平成22年2月4日（木） ホテルコムズ大阪

福岡会場 平成22年2月25日（木） 博多エクセルホテル東急

定 員 各会場75名程度

参加費 無料（日本医師会認定産業医制度の指定研修として申請中）

講習時間・内容

13:30～13:40 開講挨拶（開催地の都道府県労働局）

13:40～15:10 職場におけるウイルス肝炎対策

15:20～16:50 職場におけるエイズ・ノロウイルス・結核対策

申込方法 インターネット又はファックス（先着順に受け付けます）

問合せ先 財団法人 産業医学振興財団 企画課

東京都港区赤坂2-5-1 東邦ビル3階

電話 03-3584-5429 fax 03-3584-5426

ホームページ <http://www.zsisz.or.jp/>

＊ 平成 22 年度産業医学調査研究助成希望者の募集案内

財団法人産業医学振興財団では、産業医学調査助成事業として、現場で働く人々（中小事業主等を含む）の健康の保持や産業医活動の推進等に関する調査研究を助成することにより、産業医学の振興と職場で働く人々の健康確保に資することにしています。平成 22 年度の「産業医学調査研究助成事業」助成希望者を募集します。平成 21 年度から助成金の限度額、手続きその他を大幅に変更しました。

詳細は財団ホームページをご覧ください。

<http://www.zsisz.or.jp/>

＊ 平成 21 年度年末年始無災害運動の実施要領

中央労働災害防止協会が主唱する平成 21 年度年末年始無災害運動の実施要領が公表されました。

スローガン 「ゆるむ気持ちを引き締めて 年末年始も無災害」

実施期間 平成 21 年 12 月 15 日から平成 22 年 1 月 15 日

<http://www.jisha.or.jp/campaign/musaigai/index.html>

~~~~~

早いもので、平成 21 年も残り 1 ヶ月です。

群馬労働局安全衛生課によりますと、今年は死亡災害の件数が少々多くなっているようです。12 月 15 日から年末年始無災害運動が始まりますが、無災害で明るい新年を迎えられますことを、お祈りいたします。

=====  
<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

[sanpo10@gummasanpo.jp](mailto:sanpo10@gummasanpo.jp)

=====

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966